

“Global Issue Songsをクラスに使う”

清水 順

1. 初めに

私は、現在ランゲージセンターに所属し、全カリの英語を担当している。専門は英語教育で、特に平和教育、グローバル教育に興味を持ち研究を行っている。本年春に開催された英語教育セミナーでは、グローバル教育を英語のクラスにどのように取り入れるかという点から、世界の問題を歌った global issue songs を用いた、リスニングの実践例を紹介し、その意義と目的について説明した。

2. グローバル教育が英語教育に浸透した背景

1980年代以来、世界は目まぐるしく変化している。そうした社会を反映して平和教育やグローバル教育が西欧諸国で取り入れられるようになる。そしてその影響は英語教育にも及んでいる。

3. 理論から実践へ

平和教育の理念から英語教育の役割を考えると、それは次の通りである。コミュニケーション能力の向上、異文化理解、社会問題に対する意識の向上、問題解決能力と批判的思考力の向上で

ある。以上の目標を達成するには、さまざまな方法があるが、国際問題への意識を高める効果的方法の一つとして global issue songs を discussion topic に使うことが出来る。

まず、listening comprehensionとして学生は、listening close, true or false, multiple choice, reaction to music等の質問に答える。次に、歌の内容について、例えば「この歌のメッセージは何か。」「より良い世界を作るには私たちに何ができるか。」「もし自分が人々から見捨てられたら、どんな気持ちになるだろうか。」などの質問にディスカッションを通して答える。最後に、グループ毎に、意見を発表し、分かち合いを行う。

4. 終わりに

歌は、学生の興味を引き学習の意欲を高め、listeningばかりでなく speaking への動機付けにもなっている事は、学生の反応からも明らかである。加えて、世界問題への意識が高まり、その理解が深まれば、歌は大変効果的な方法の一つとなるであろう。

(しみず すなお
本学ランゲージセンター英語嘱託講師)